

検 査 課 業 務 概 要

検査課では、「千葉県検査業務運営要領」に基づく検査業務を実施している。平成 20 年度からは、環境衛生検査(飲料水検査等)は廃止され、食品化学検査は衛生研究所へ集約、検査業務の効率化と高度な検査に対応するための検査体制が変わった。

また、平成 21 年度からは新たにノロウイルス検査が導入されている。

成田支所の検査業務は、従前からの細菌検査受付に加え、平成 20 年 3 月から開始した HIV の即日検査に対応するために検査課員が出向いている。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた香取健康福祉センターの検査室半壊により海匠健康福祉センター管内で発生した食中毒等検査について応援要請依頼を受け検査を実施した。

1. 臨床検査及び細菌検査

(1) 臨床検査

エイズ対策として HIV 抗体検査を 330 件、性病予防対策としてクラミジア抗体検査 293 件及び梅毒検査 300 件、肝炎対策として、HB s 抗原検査 306 件・HCV 抗体検査 304 件を実施した。

原子爆弾被爆者を対象とした健康診断では尿検査を 65 件実施した。

(2) 細菌検査

ア 平常時検査

平常時の感染症対策としての給食施設従事者、食品取扱業者、水道施設従事者等を対象として腸管出血性大腸菌 0157、赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌等の腸内細菌検査を 13,533 件実施し、サルモネラ属菌を 2 件検出した。

イ 感染症発生等に伴う検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、患者、家族・接触者等の菌検索を 25 事案 286 検体実施し、赤痢菌を 1 件、腸管出血性大腸菌 0157 を 7 件、腸管出血性大腸菌 026 を 25 件検出した。

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

食品機動監視課が監視指導を推進するために、管内施設から収去した食品等について 223 検体 1,155 項目実施した。

(2) 乳類規格試験

食品機動監視課が収去した市販の牛乳等について、規格試験を 7 検体 30 項目実施した。

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査を 67 事案 330 検体 6,264 項目実施し、サルモネラ属菌 1 件、黄色ブドウ球菌 5 件、カンピロバクター 3 件、セレウス菌 1 件を検出した。

ノロウイルス検査は 279 件中 143 件が陽性であった。

3. 精度管理

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理、外部精度管理ともに良好な結果であった。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	印旛 保健所	成田 支所
血 液	梅毒	T P 法	292	288	300	223	77
		S T S 法	292	288	300	223	77
	H I V 抗体		345	319	330	247	83
	クラミジア抗体		290	285	293	218	75
	H C V 抗体		306	295	304	227	77
	H B s 抗原		306	295	306	229	77
尿	糖		81	84	65	65	—
	蛋白		81	84	65	65	—
	ウロビリノーゲン		81	84	65	65	—
	潜血		81	84	65	65	—
喀 痰	結核菌	塗抹鏡検	—	—	—	—	—
		培 養	—	—	—	—	—
便	寄生虫	塗抹鏡検	—	—	—	—	—
		ぎょう虫卵	1	5	6	2	4

(2) 細菌検査

表 1 - (2) - ア 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成 22 年度		14,487	9,661	2,883	1,143	800
平成 23 年度		14,046	9,238	3,096	996	716
平成 24 年度		13,533	8,914	2,708	1,058	853
印 旛	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌	3,169	2,438	101	370	260
	腸管出血性大腸菌 0157	4,238	2,499	1,194	283	262
	その他の菌(腸炎ビブリオ)	17	—	—	—	17
成 田 支 所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌	2,319	1,828	66	289	136
	腸管出血性大腸菌 0157	3,790	2,149	1,347	116	178
	その他の菌(腸炎ビブリオ)	—	—	—	—	—

表 1－(2)－イ 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	便			飲料水	食品・吐物	拭き取り
			経過者・患者	接触者・家族	その他			
平成 22 年度		96	30	65	—	1	—	—
平成 23 年度		53	22	31	—	—	—	—
平成 24 年度		286	62	222	2	—	—	—
印 旛	赤痢菌	12	1	9	2	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	12	3	9	—	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	61	18	43	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	169	33	136	—	—	—	—
	その他の菌	7	1	6	—	—	—	—
成 田 支 所	赤痢菌	—	—	—	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	—	—	—	—	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	7	5	2	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	18	1	17	—	—	—	—
	その他の菌	—	—	—	—	—	—	—
検 出 菌 状 況	赤痢菌	1	—	1	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	7	5	2	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	25	7	18	—	—	—	—

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

表 2－(1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		224	196	223	121	102
項 目 数		1, 220	977	1, 155	616	539
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	212	182	199	97	102
	大腸菌群の有無	212	172	189	87	102
	大腸菌（E.coli）	7	19	126	99	27
	黄色ブドウ球菌	212	182	206	104	102
	サルモネラ属菌	219	186	201	99	102
	腸炎ビブリオ	5	6	7	5	2
	カンピロバクター	203	163	179	77	102
	腸管出血性大腸菌 0157	133	39	41	41	0
	腸管出血性大腸菌 026	7	9	9	9	0
	腸管出血性大腸菌 0111	—	9	9	9	0
	恒温試験	5	5	5	5	0
	細菌試験	5	5	5	5	0

(2) 乳類規格試験

表 2－(2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		7	7	7	7	—
項 目 数		34	30	30	30	—
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	7	7	7	7	—
	大腸菌群の有無	7	7	7	7	—
	比重	5	4	4	4	—
	酸度	5	4	4	4	—
	無脂乳固形分	5	4	4	4	—
	乳脂肪分	5	4	4	4	—

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

表 2-(3)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食 品	便	吐物	拭き取り	その他
平成 22 年度	検体数	284(6)	16	251(6)	—	16	1
	項目数	5,294(118)	332	4,637(118)	—	304	21
平成 23 年度	検体数	427	32	328	1	66	—
	項目数	7,910	614	6,022	20	1,254	—
平成 24 年度	検体数	330	12	291	5	22	—
	項目数	6,264	228	5,613	5	418	—
実 施 項 目	コレラ菌	315	12	281	—	22	—
	赤痢菌	315	12	281	—	22	—
	チフス菌	315	12	281	—	22	—
	パラチフス A 菌	315	12	281	—	22	—
	腸炎ビブリオ	315	12	281	—	22	—
	NAGビブリオ	315	12	281	—	22	—
	ビブリオ ミミクス	315	12	281	—	22	—
	ビブリオ フルビアリス	315	12	281	—	22	—
	黄色ブドウ球菌	315	12	281	—	22	—
	サルモネラ属菌	315	12	281	—	22	—
	セレウス菌	315	12	281	—	22	—
	ウェルシュ菌	315	12	281	—	22	—
	カンピロバクター	315	12	281	—	22	—
	エルシニア エンテロコリチカ	315	12	281	—	22	—
	エロモナス ヒドロフィラ	315	12	281	—	22	—
	エロモナス ソブリア	315	12	281	—	22	—
	プレジオモナス シゲロイデス	315	12	281	—	22	—
	病原性大腸菌	315	12	281	—	22	—
	腸管出血性大腸菌 0157	315	12	281	—	22	—
	ノロウイルス	279	—	274	5	—	—
	大腸菌群	—	—	—	—	—	—
	大腸菌	—	—	—	—	—	—
	生菌数	—	—	—	—	—	—
検出菌内訳	黄色ブドウ球菌	5	—	5	—	—	—
	サルモネラ属菌	1	—	1	—	—	—
	カンピロバクター	3	—	3	—	—	—
	セレウス菌	1	—	1	—	—	—
	ノロウイルス	143	—	143	—	—	—

() は海匝保健所受付分として再掲

表 2-(3)-イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況
(当年度保健所別・再掲)

(単位：件)

項 目		印旛保健所	成田支所
コレラ菌		245	70
赤痢菌		245	70
チフス菌		245	70
パラチフス A 菌		245	70
腸炎ビブリオ		245	70
NAGビブリオ		245	70
ビブリオ ミミクス		245	70
ビブリオ フルビアリス		245	70
黄色ブドウ球菌		245	70
サルモネラ属菌		245	70
セレウス菌		245	70
ウェルシュ菌		245	70
カンピロバクター		245	70
エルシニア エンテロコリチカ		245	70
エロモナス ヒドロフィラ		245	70
エロモナス ソブリア		245	70
プレジオモナス シグロイデス		245	70
病原性大腸菌		245	70
腸管出血性大腸菌 0157		245	70
ノロウイルス		211	68
大腸菌群		—	—
大腸菌		—	—
生菌数		—	—
合計		4,866	1,398
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	3	2
	サルモネラ属菌	1	—
	カンピロバクター	3	—
	セレウス菌	1	—
	ノロウイルス	101	42

3. 精度管理

(1) 内部精度管理

表 3- (1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	生菌数	40
繰り返し試験	生菌数	6
陽性対照	腸管出血性大腸菌 O157	6
	腸管出血性大腸菌 O26	2
	腸管出血性大腸菌 O111	2
	黄色ブドウ球菌	19
	サルモネラ属菌	17
	セレウス菌	1
	腸炎ビブリオ	4
	大 腸 菌	19

(2) 外部精度管理

表 3- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
財団法人 食品薬品安全センター	一般細菌数 大腸菌群 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌 大腸菌 (E.coli)
千葉県衛生研究所	LAMP 法によるベロ毒素産生遺伝子の検査 ノロウイルス